

# 地域社会の<sup>★</sup>希望<sup>★</sup>となる 子どもの育成

第3期 草津市教育振興基本計画の推進に向けて

草津市教育委員会事務局

学校教育課・学校政策推進課・生涯学習課

# 1 第2期計画 (H27~R2) 学校教育の課題

子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ

子どもの生きる力を育む

目標 1 豊かな心と健やかな体の育成

目標 2 生活習慣と社会性の育成

目標 3 確かな学力の育成

学校の教育力を高める

目標 4 教師の指導力の向上

課題：特色ある教育活動編成・実施

目標 5

課題：地域の活力を活かした学校経営

目標 6 教育環境の充実

# 第6次 草津市総合計画 第1期基本計画 ～これから12年間のまちづくりの指針となるもの～

## ①子どもの生きる力を育む教育の推進

課題：子どもたちがこれからの時代（Society5.0）をたくましく生き抜くために、相手を尊重し、周囲と協力して、**持続可能な社会を創造していく学び方を身に付ける必要があります。**

## ②学校の教育力の向上

課題：教職員が常に**自己の専門性や指導の改善**に努めるとともに、**地域や保護者との連携**を大切にし、学校経営や教育環境づくりを計画的に実施することで、**学校の教育力の向上を図る必要があります。**

## 【草津市教育振興基本計画(第3期)】

### グローバル化の進展とSDGsの推進

- ・「持続可能」で「誰一人取り残さない」SDGsの視点を意識した取組

#### ①子どもの生きる力を育む

- ・豊かな心と健やかな体の育成
- ・確かな学力の育成

#### ②学校の教育力を高める

- ・教職員の指導力の向上
- ・学校経営の充実、教育環境の充実

#### ③社会全体で学びを進める

- ・家庭、地域での学びの充実
- ・地域協働合校の推進

#### ④歴史と文化を守り育てる

- ・歴史文化の価値の伝承
- ・郷土への愛着心の醸成

子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ

## 4 「持続可能な社会の創り手の育成」は学習指導要領の基盤となる理念

SDGS	世界と共同して持続可能な社会を創る主体を育てる ～私たちの世界を変容させる17の目標～				
	前文・総則	「持続可能な社会の創り手」の育成			
学習指導 要領	領域	学習の転換	産業の構造転換	国家/地域形成	国際競争/協調
	関連 施策	・総合的な学習	・GIGAスクール構想	・特別の教科道徳	・外国語活動
		・探究の時間	・プログラミング教育	・社会に開かれた教育課程	・国際標準の学力
		・高校の科目再編	・キャリア教育	・コミュニティ・スクール	

### 「持続可能な社会の創り手」となるための3つの資質・能力

実際の社会や生活で生きて働く知識・技能を身に付けた子ども

未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども

学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう人間性を身に付けた子ども

# 5 「持続可能な社会の創り手」を育む教育 ⇒ ESD

めざす草津のこどもの姿

地球規模で考え、他と協働して身近なことから行動する子ども

主体性

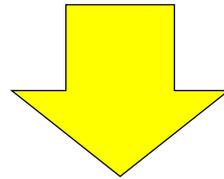
探究性

協働性

社会性

自己肯定力・やり抜く力

めざす草津のこどもの姿を  
実現させる方策



総合的な  
学習の時間を核とした  
ESD



Keyword

社会に開かれた  
教育課程

# 7 ESDは、持続可能な開発のための教育

## (1) ESD (Education for Sustainable Development) ＝持続可能な開発のための教育

- ・ユネスコの主導によって推進されてきた**未来志向の教育**

## (2) ESDの本質…Think Globally, Act Locally

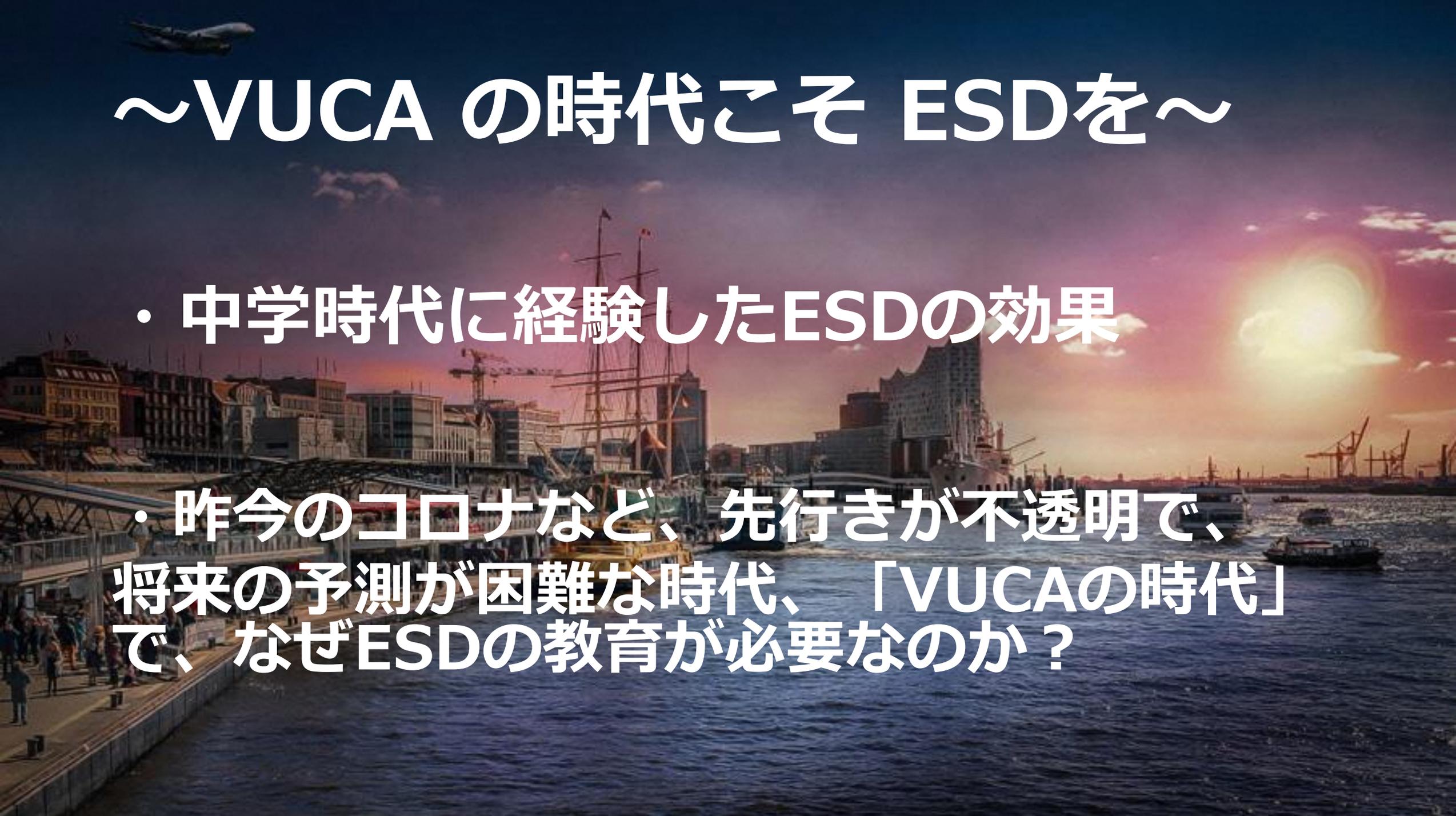
- ・身近なところから**行動を開始**し、  
**学びを実生活や社会の変容へとつなげる**



SDGsの実現に貢献するESD

### 大学4回生 水登喜丸さん

- 南笠東小学校⇒玉川中学校⇒高校⇒大学
- 玉川中学校で現在も継続されている「つながり学習」の第一期生。
- 中学時代に経験したESDの効果について直接みなさんに伝えたい。



# ～VUCA の時代こそ ESDを～

- 中学時代に経験したESDの効果
- 昨今のコロナなど、先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代、「VUCAの時代」で、なぜESDの教育が必要なのか？

# ESDだからこそその3つの力・・・

1. 仮説を立てて検証をする力（ユーモア・行動力）

2. 人と信頼関係を築く力

3. 皆でプロジェクトを遂行する力  
（協調性・やり抜く力）

# 3つの力がどう活かされたのか①



～草津から東京キックボード旅～

3つの力がどう活かされたのか②

～旅人の世界大会～

・一週間で10000票 世界2位の投票数

# ～私の将来について・鉄鋼商社～

・ 自身の人間力 ⇨ グローバルにビジネス展開



ESDで培った3つの力

1. 仮説を立てて検証をする力（ユーマア・行動力）
2. 人と信頼関係を築く力
3. 皆でプロジェクトを遂行する力  
（協調性・やり抜く力）

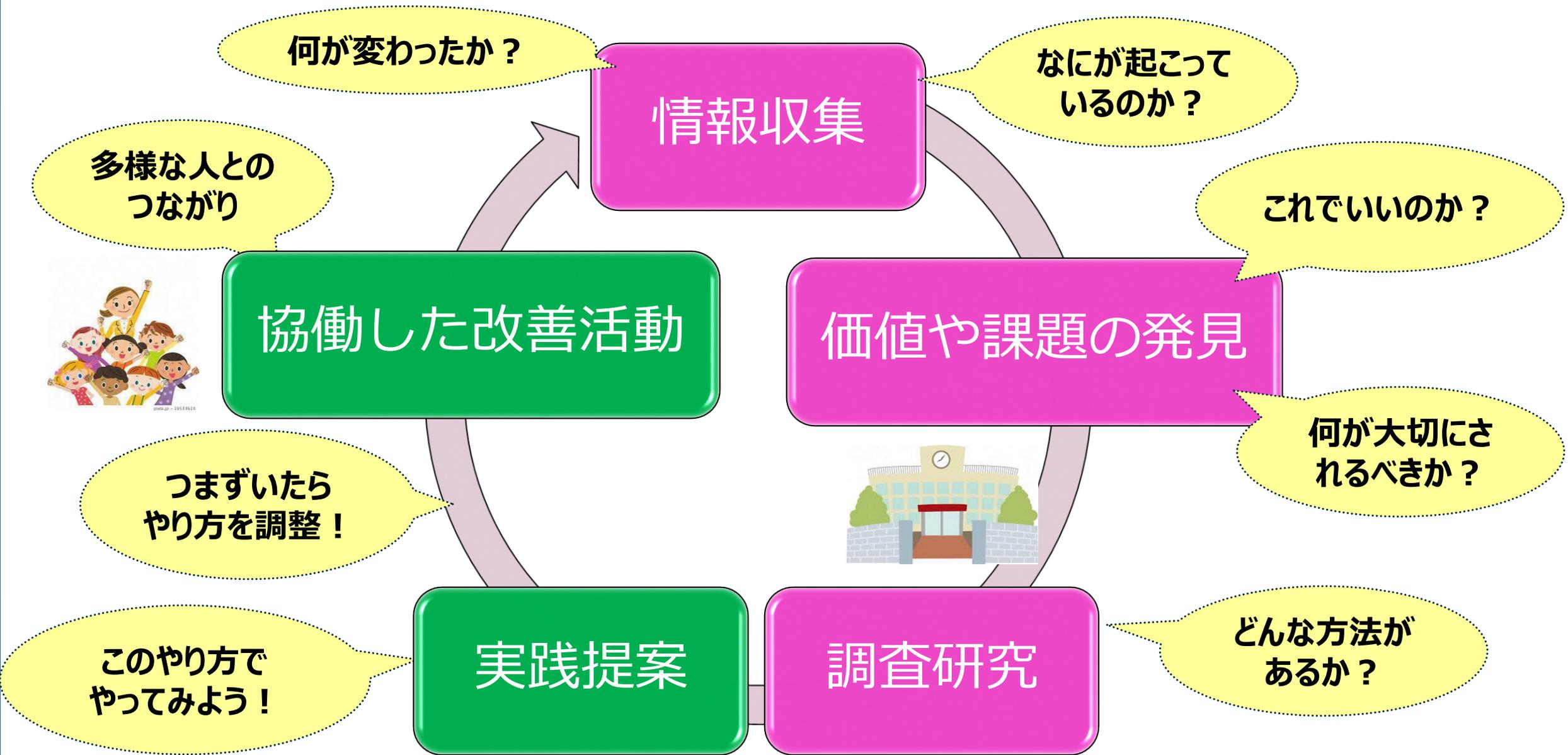
# ～カーボンニュートラル 脱炭素社会～

・ 社会の問題に対して、自身の力で変革できると思うようになったのも、ESDを経験したからです。

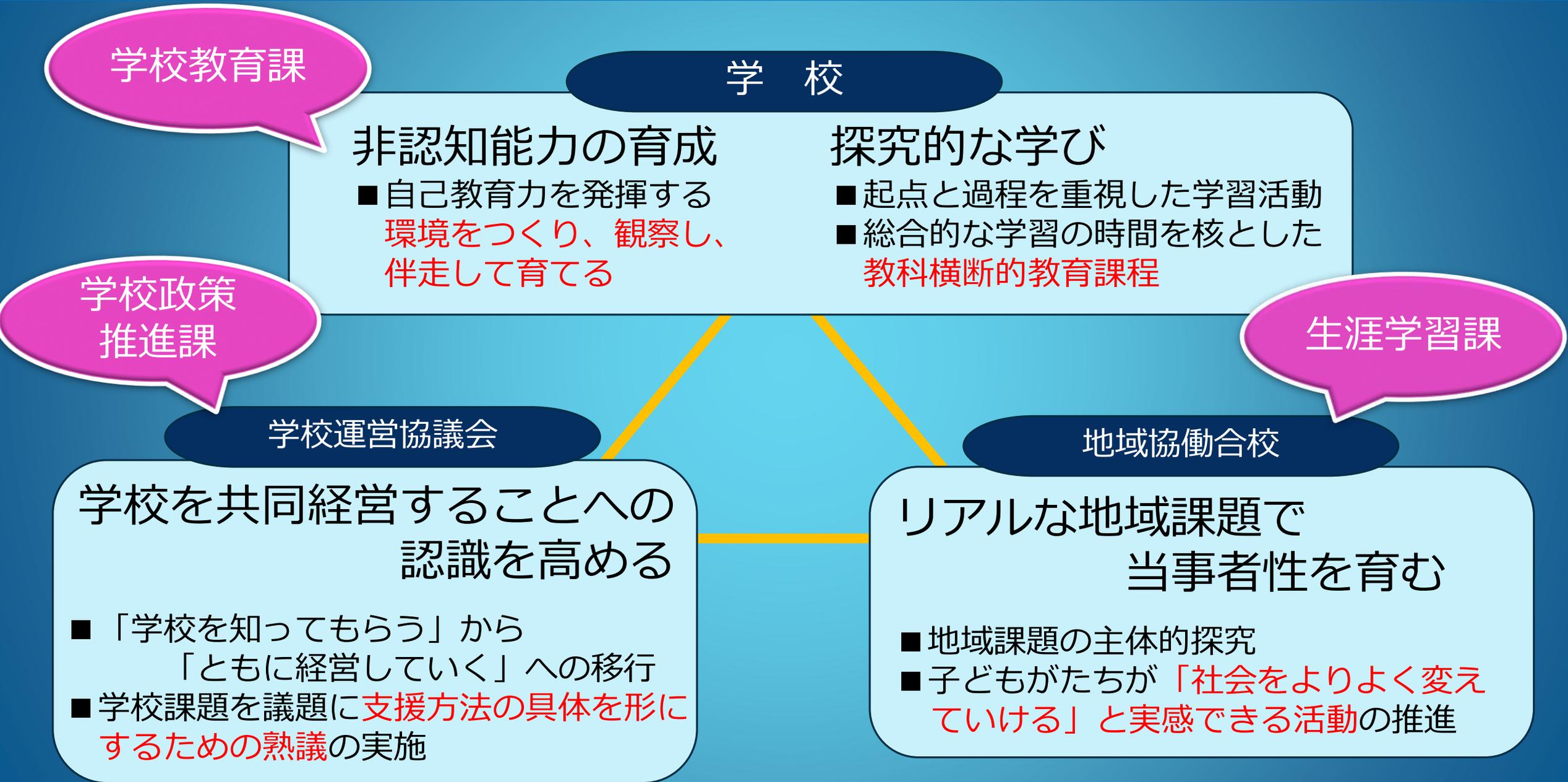
～世界を変える人材をこの草津市から～

・草津市・日本・世界の環境、社会を作る、  
変えるチャンスがあるのは目の前に  
いる皆さんと、私達、何よりも子供たち  
です。

# 9 総合的な学習の時間を「社会に開かれた教育課程」に



# 10 「社会に開かれた教育課程」を支える体制



## 11 「スクールESDくさつプロジェクト」の推進

《目標》 令和12年度（2030年）に  
一人も取り残さない教育の実現をめざす

- 教育委員会事務局に **ESD担当を設置**  
モデル校での推進支援からすべての学校の実践支援
- 各校の※ESDカレンダーに基づいた  
**カリキュラム・マネジメントの実践**
- 子どもが五感で感じられる  
**地域の『ヒト・モノ・コト』学習資源の活用**

# (1) 学校教育課にESD担当を配置

《指導主事1名・教員OB 1名》

- ESDカレンダー作成支援
- 検証と課題に向けた支援
- 実践と学力向上との相関把握
- 学校運営協議会での地域連携支援
- 日本ESD学会との連携協定
- カーボンニュートラルにかかる

学校現場での推進

## (2)モデル校による実践と検証

《3校をモデル校とし2年間継続》

- 各校のテーマに基づくESDカレンダーに即したカリキュラムの実践とHP発信  
⇒**学校運営の活性化と学校文化の創出につなげる**
- 地域課題解決型の地域協働合校活用  
⇒**グローバルな地域活動の充実につなげる**
- 市教委主催の報告・研修会の開催  
⇒**教育的効果の実証につなげる**

# (3) スクールESDくさつ宣言

《令和6年度から全ての学校で》

- 令和3年 1月 教員対象ESD研修会①  
8月 教員対象ESD研修会②  
CS・地域Co研修会  
教育委員会での説明・合意形成  
10月 校長会での説明・合意形成  
総合教育会議での議論  
11月 R4予算への反映
- 令和4年 2月 当初予算概要の記者発表  
4月 モデル校3校での取組スタート

## (4)事業の中間目標

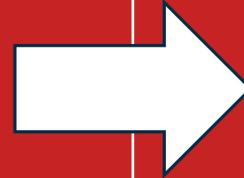
- 《時期》 令和8年度末  
《対象》 すべての小中学校  
《内容》

各学校は、

- ① ESDカレンダーの点検・改善を年1回以上実施
- ② 「地域連携」をテーマにした学校運営協議会を各年1回以上実施する。
- ③ 「地域資源を活用した課題解決学習」を各年3回以上実施する。

# (5) 推進計画

令和4年度・5年度



令和6年度～12年度

学校教育課にE S D担当を配置

※指導主事1名、教員OB 1名

モデル校3校による実践

※モデル校には活動費を配分

※モデル校以外はR6からの準備を地域協働合校推進費を活用した活動

報告会・研修会の開催

学校教育課にE S D担当を配置

※指導主事1名、教員OB 1名

すべての小中学校による実践

※すべての学校に活動費を配分

※年度の実績により配分変更有り

報告会・研修会の開催

ありがとうございました。

